

令和6年度東京歯科大学水道橋病院

医療連携報告会・懇親会

プログラム・抄録集

日 時：令和7年2月20日（木）19:30～

会 場：東京歯科大学水道橋校舎本館 12 階講義室 A

「明日の診療に役立つ臨床ヒント」

- 講演 ① 19:35～「診療中のトラブル症例の共有と対応」-口腔外科-
- 講演 ② 20:00～「デジタル歯科における補綴系材料学」

- ◆ 懇 親 会 20:40～ 会場：東京歯科大学水道橋校舎西棟 1 階ラウンジ

令和6年度東京歯科大学水道橋病院
医療連携報告会・懇親会

【医療連携報告会】

日時：令和7年2月20日(木) 19:30～

会場：東京歯科大学水道橋校舎本館12階講義室A

テーマ：「明日の診療に役立つ臨床ヒント」

司会：副病院長・地域医療連携委員会副委員長 新谷 誠康

19:00～ 受付開始

19:30～ 開会挨拶 水道橋病院長 山下 秀一郎

19:35～ 講演① 「診療中のトラブル症例の共有と対応」-口腔外科-

口腔顎顔面外科学講座 教授

渡邊 章

20:00～ 講演② 「デジタル歯科における補綴系材料学」

クラウンブリッジ補綴学講座 准教授

野本 俊太郎

20:25～

質疑応答

20:35～ 閉会挨拶 副病院長・地域医療連携委員会委員長

笠原 清弘

【懇親会】

時間：同日 20:40～21:30（終了予定）

会場：東京歯科大学水道橋校舎西棟1階ラウンジ

～ 講演 ① ～

「診療中のトラブル症例の共有と対応」 — 口腔外科 —

東京歯科大学

口腔顎顔面外科学講座 教授 渡邊 章

水道橋病院口腔外科には、年間に約6000例以上の患者様をご紹介いただいております。紹介内容の多くは抜歯関連ですが、最近では診療中のトラブル症例も散見されるようになってきました。さらに重度の合併症を伴った際は、患者様自身の日常生活に支障を与え、さらには訴訟へと発展していくケースも珍しくありません。訴訟となるケースの原因として、説明不足や対応などがきっかけで患者様との関係が悪化するとも言われています。

日々の診療の中に遭遇するトラブルは、迅速な対応が必要となるケースが多く、患者様の安全の確保を行いながら対処できる専門性の高い医療施設の手配、患者様やご家族への配慮、その後の診療室のコントロールなど多くのことを行わなければなりません。また、紹介先の医療施設での対応や対処する担当医から患者様への説明の配慮など心配となる点も多々あると思います。水道橋病院口腔外科では、緊急を要するトラブル症例のご紹介を頂いた際は、すぐに連携の先生方と直接連絡を取り、現状の把握と患者様への十分な配慮を行い対応するよう医局員一同、細心の注意を払って対応しています。

日常診療においてトラブル症例を起こさないことはもちろんですが、様々なトラブルの回避や予防方法などを学ぶ機会は少なく、中々経験できるものでもありません。そこで、今回の医療連携報告会では、ご紹介いただいた口腔外科疾患の治療トラブル症例について報告します。報告するトラブル症例は、浸潤麻酔の際の注射針の軟組織迷入、切削器具の組織迷入、外科処置（抜歯、インプラント埋入）での神経損傷、皮下気腫、インプラント・抜歯後感染などできるだけ多くの症例を提示し、トラブルの原因や予防方法などを説明します。この様々なトラブル症例を共有することにより危険予測の認識が高まり、これまで以上に安全な診療へとアップデートされ、明日からの皆様の臨床に役立てていただければと思います。

～ 講演 ② ～

「デジタル歯科における補綴系材料学」

東京歯科大学

クラウンブリッジ補綴学講座 准教授 野本俊太郎

近年、金属価格の高騰や審美的要求の高まりからメタルフリー治療が広く行われるようになってきました。ハイブリッドレジンによる CAD/CAM クラウンは小白歯から導入されました。令和 5 年 12 月には歯 CAD (V) として PEEK (ポリエーテルエーテルケトン) 材料が導入され、令和 6 年 6 月からは歯 CAD (Ⅲ) の適用部位が制限緩和されました。これと同時にエンドクラウンについても保険導入されました。

歯科臨床に用いる補綴系材料として、ジルコニアや二ケイ酸リチウムはじめとするデジタルセラミックスとハイブリッドレジンや PEEK といったポリマー材料があります。これら装置製作に際し歯科技工士さんとコミュニケーションを行うには、材料の種類や特徴などを十分に理解している必要があります。特に CAD/CAM 冠やエンドクラウン、PEEK やジルコニアを使用した補綴装置の製作には、必ずデジタル技術による工程があります。このデジタルワークフローは寒天アルジネート印象採得や石膏模型を用いてワックスアップなどで製作する従来のロストワックス法とは流れが異なります。それらの特徴をご紹介しますことで日常臨床における精度向上や失敗防止に繋がればと思います。

またこれらの補綴装置は装着時にも注意点があります。特に PEEK はエンジニアプラスチックのひとつで生体適合性に優れるとされていますが、表面性状や審美性に難点が指摘され装着時にも処理剤が限定されるなど気を付ける箇所があります。これらのメタルフリー材料で製作された補綴装置の装着には通常レジンセメントを使用しますが、材料ごとの対処や接着処理方法、またセルフアドヒーシブレジンセメント使用時の留意点、また保険適用時の考え方なども含め、お時間の許す範囲でお話させていただきます。

野本俊太郎 (東歯大平成 14 年卒)

日本補綴歯科学会 専門医・指導医

日本接着歯学会 専門医・指導医

日本歯科審美学会 理事・認定医

日本デジタル歯科学会 専門医

病院長	山下 秀一郎
副病院長	鳥山 佳則
副病院長	新谷 誠康
副病院長	平田 創一郎
副病院長	笠原 清弘

東京歯科大学水道橋病院
診療科担当医ご案内(レギュラースタッフ)

R7.1現在

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	客員教授	古澤 成博	歯内療法学
	客員准教授	河野 誠之	
	准教授	山田 雅司	
	講師	佐古 亮	
	助教	田宮 資己	
		鈴木 穂	
		中里 晴香	
		岩澤 弘樹	
	レジデント	北島 彩花	
		高橋 玲子	
		古澤 誉彰	
		井瀬 智之	
		谷 洸希	
		江川 加奈	
	教授	齋藤 淳	歯周病学
	医局長・講師	今村 健太郎	
	助教	山下 慶子	
		北村 友里恵	
レジデント	久永 理央		
	齋藤 佳美		
	安藤 麻友里		
部長・教授	原田 怜音	保存修復学	
准教授	小久保 楓香		
講師	村松 敬		
講師	杉戸 博記		
助教	春山 亜貴子		
	半場 秀典		
補綴科	教授	石塚 久子	老年歯科補綴学
	准教授	中野 岳志	
	講師	上田 貴之	
	助教	竜 正大	
		高野 智史	
		太田 緑	
	レジデント	齋藤 壮	
		石田 晃裕	
		中澤 和真	
		小林 嵩史	
		山本 吉紀	
		竹内 みのり	
	教授	堀 綾夏	クラウンブリッジ補綴学
	名誉教授	関根 秀志	
	准教授	佐藤 亨	
	講師	野本 俊太郎	
	助教	四ツ谷 護	
		酒井 貴徳	
露木 悠			
レジデント	黒田 祥太		
	平野 瑞穂		
	岡野 文佳		
	河津 里香		
	佐藤 真紀		
	荒井 春乃		
部長・教授	大熊 宏岳	パーシャルデンチャー補綴学	
医局長・准教授	山下 秀一郎		
客員准教授	田坂 彰規		
講師	堀田 宏巳		
助教	大平 真理子		
	加藤 芳実		
	岡野 日奈		
レジデント	小林 裕		
	伴野 圭太		
	北村 旭		
	中村 領杜		
	加藤 雄人		
	木村 遼太		
口腔外科	教授	渡邊 章	口腔顎顔面外科学
	客員教授	柴原 孝彦	
	講師	高木 多加志	
	助教	高野 正行	
		吉田 秀児	
		加藤 宏	
	レジデント	有泉 高晴	
		林 幸央	
		小坂 悠樹	
		小原 身知子	
		村松 賢太郎	
		井川 瑞葵	
	部長・教授	片倉 朗	口腔病態外科学
	病院教授	笠原 清弘	
	医局長・准教授	菅原 圭亮	
	講師	(西山 明宏)	
	助教	星野 照秀	
		小山 侑	
小谷地 雅秀			
レジデント	二階堂 純彦		
	加藤 禎彬		
	杉浦 慧		
	丸島 あずさ		
	岩崎 亮		
	立澤 孝太郎		
齋藤 萌			

診療科名	職名	氏名	講座名
歯科麻酔科	部長・准教授	小鹿 恭太郎	歯科麻酔学
	講師	半田 俊之	
	医局長・講師	吉田 香織	
	助教	齋藤 菜月	
	レジデント	飯村 真理子	
矯正歯科	部長・教授	西井 康	歯科矯正学
	客員教授	末石 研二	
	准教授	石井 武展	
	講師	片田 英憲	
	医局長・講師	立木 千恵	
	助教	有泉 大	
		西村 達郎	
	レジデント	戸村 拓真	
		林 優希	
		大澤 雄一郎	
太田 健太郎			
都丸 宏実			
森 瑞貴			
勝田 真央			
小鹿 慎子			
新井田 張			
星 沙弥佳			
小児歯科	部長・教授	新谷 誠康	小児歯科学
	講師	辻野 啓一郎	
	医局長・講師	櫻井 敦朗	
	講師	本間 宏実	
	助教	棚瀬 稔貴	
	助教	田中 亜生	
レジデント	丹羽 佳世子		
	田中 康裕		
	部長・教授	佐々木 穂高	口腔インプラント学
講師	古谷 義隆		
医局長・講師	平野 友基		
助教	原田 博朗		
	頼岡 廣明		
レジデント	鈴木 玲也		
	重松 正樹		
	鈴木 航		
茂木 将			
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	科長・教授	福田 謙一	口腔健康科学
	客員教授	大多和 由美	
	医局長・助教	加藤 栄助	
	助教	添田 萌	
		國奥 有希	
	レジデント	野末 雅子	
廣瀬 詩季子			
松永 健			
青島 輝			
健康スポーツ歯科	科長・教授	中島 一憲	健康スポーツ歯科
	医局長・助教	阪上 隆洋	
	筒井 新		
都合 晋司			
摂食嚥下リハビリテーション科	科長・教授	石田 瞭	摂食嚥下リハビリテーション科
	准教授	大久保 真衣	
	医局長・助教	加藤 栄助	
	レジデント	芳村 竜秀	
放射線科	部長・教授	後藤 多津子	歯科放射線学
	客員教授	岡野 友宏	
	医局長・講師	音成 実佳	
	講師	小高 研人	
	助教	佐藤 仁美	
		松元 秀樹	
和田 大岳			
臨床検査科	部長・教授	松坂 賢一	病理学
	客員教授	橋本 貞充	
	准教授	國分 克寿	
	講師	中島 啓	
助教	山本 圭		
内科	科長・准教授	山岸 由幸	内科
特任教授	仁科 牧子		
特任教授	ビッセン 弘子		
眼科	科長・准教授	太田 友香	眼科
助教	緑川 桃佳		

()長期出張中

～ ご 案 内 ～

【診療情報提供書（紹介状）について】

「診療情報提供書（紹介状）」ご入用の際には、恐れ入りますが下記までご連絡のほどお願いいたします。

東京歯科大学水道橋病院 地域医療連携室
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-9-18
TEL:03(5275)1732(ダイヤルイン)、FAX:03(3262)3215
E-mail:renkeish@tdc.ac.jp

【各科へのお問い合わせ電話番号について】

診療のお約束やお問い合わせは、各科直通ダイヤルインにおかけ下さいますようお願い申し上げます。

受付時間：平日 8:45～17:30 土曜 8:45～13:00

保 存 科	03(5275)1721 03(5275)1722	補 綴 科	03(3262)3425 03(3262)3426
※口 腔 外 科 ※(神経修復外来)	03(5275)1725 (指定医あり) 03(5275)1726 (指定医なし)	※矯 正 歯 科	03(5275)1724
小 児 歯 科	03(5275)1723	※スペシャルニーズ歯科・ ペインクリニック科	03(5275)1795
※歯 科 麻 酔 科	03(5275)1851	※口腔インプラント科	03(5275)1760
※健康スポーツ歯科	03(5275)1721 03(5275)1722	※摂食嚥下リハビリテーション科	03(5275)1732
内 科	03(5275)1926	※眼 科	03(5275)1856
※放射線科 (CT撮影)	03(5275)1953	医 事 課 (受 診 案 内)	03(5275)1932

※ 初診の予約を必要としている診療科

《MEMO》

地域医療連携委員会委員

【委員長】笠原清弘 【副委員長】新谷誠康【顧問】山下秀一郎、田口円裕

【水道橋病院委員】家永祐子、石井哲、石田瞭、宇治田理恵、内田篤志、江橋延江、
太田友香、片倉朗、亀山桂、小鹿恭太郎、後藤多津子、佐々木穂高、鳥山佳則、
中島一憲、中村友美、西井康、平田創一郎、福田謙一、松坂賢一、宮城島俊雄、
村松敬、山岸由幸

【学外委員】臼田準、北村晃、元田文治、濱克弥、番田秀司、福井雅之、文野弘信

※50音順